

一般質問



南雲学童保育クラブ

福祉と健康のまちづくりについて

安力川信之 議員

質問 条例以外で「障害者」を「障がい者」に変更すべきと思うがどうか。

答弁 「障害者」の表記は、行政として法律等の記載に基づき使用するものであり、法令等の見直しなどがなければ、継承されるものと考えています。

質問 妊婦健診を14回助成

すべきと思うがどうか。

答弁 市では現在5回の公費補助をしています。政府の第2次補正予算案に14回の助成が盛り込まれていますが、今後、国・県の動向を見ながら前向きに検討したいと考えています。

質問 子ども医療費を中学3年生まで通院無料化する

る考えは。

答弁 通院医療費に対する助成範囲を現行の小学3年から中学卒業まで拡大する方向で考えています。なお、実施時期は平成21年10月からとする考えです。

質問 がん対策と渋川総合病院の取り組みは。

答弁 今年度から特定健診会場で胃がん、大腸がん、前立腺がん検診を一緒に受診できる体制とし、がんの早期発見に努めています。渋川総合病院では、放射

線治療の充実を図るため、高精度なライナック装置を導入整備し、群馬大学と連携を行い、がん治療の強化に取り組みます。

質問 新型インフルエンザ対策、行動計画の考えは。

答弁 12月15日号の広報で新型インフルエンザ対策の一般的な知識を市民の皆さんにお知らせしました。今後は各市町村ごとに作成するマニュアルと行動計画について、スケジュールを立てて策定していきます。

子育て支援について

須田 愛作 議員

質問 合併により公設民営化した学童クラブは、小規模クラブほど運営が厳しいが支援は。

答弁 国や県では児童数20人未満のクラブへの補助はなく、市単独で補助していません。経費は各クラブに大きな差はないので、更に小規模なクラブに対する支援

が必要であると考えています。

質問 地域で支援しているPTA準会員の会費徴収をどう思うか。

答弁 準会員費は、地域の皆様の温かいご支援のもとご協力いただいている学校があります。市内の学校規模にも大きな違いがあり、支援を必要とする場面もあ

な対応に努めます。

質問 要保護、準要保護の認定はどのような基準を持つているのか。

答弁 学校では、家庭訪問や普段の学校生活・集金状況等、あらゆる機会を通じて就学援助を必要とする児童生徒を把握し、民生委員児童委員の意見を聴いたうえで、市教育委員会へ報告します。市教育委員会では、それらの報告とその世帯の前年の収入状況等を総合的に判断し認定しています。



乳がん検査のマンモグラフィ（渋川総合病院）